

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	せかいのかたち		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 3月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の状況に応じた支援を適切に行っている。今年度は言語聴覚士が6月に加わったことで2名体制で専門的支援を実施することができ、加えて保育士経験年数5年以上のスタッフも3名配置することができたので、個別支援にも集団支援にも厚みがありました。	・専門的支援のスタッフが個別支援計画をもとに専門的支援で行う内容について協議し、集団支援と連動した支援が行えるように話し合い進めることが出来たため、質の高い支援を行うことが出来た。	・個々の児童の支援の連動性を図るために、同じスタッフが継続的には入れるように工夫したり、内容の共有方法を検討して行く。
2	利用児童のニーズにフォーカスし、まずは利用児童にとって必要なことであるかを軸にスタッフ間で話し合うことで、支援の根拠をしっかりと意識したり、方向性を共有することができたので、支援の質やスタッフの力量もアップしています。	・子どもの特性だけでなく、本人の表情や状況、保護者からの話で家での状況や園での状況、児童発達支援事業所での様子などで本人の様子をイメージしニーズを確立していき、自事業所で行える支援内容を保護者に提案しながら支援内容を立案していく。	・他の職員にもOJTをしながら、本人のニーズの抽出の仕方や支援との繋げ方についてレクチャーしてニーズを的確に支援に繋げていく人材を増やしていく。
3	生活習慣動作為ルーティン化することで、発達障害や知的障がいのある子どもでも、習慣化による自発的動作が出来るようになっている。	・わかりやすい動線、同じタイミングでの同一行動が少人数及び順番に一人ひとりマンツーマンで対応できるので定着しやすいシステムになっている。	・生活習慣動作に加え、集団活動のバリエーションが増えることで、子どもたちの経験する幅が増えるので、そちらも充実させていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やペアレントトレーニングなどは今年度実施できていなかった。	児童が9:30～17:00でいる状態での実施について、時間を調整して行うなど実施できていなかった。	次年度の年間計画に取り込み、予定通り実施できるよう計画を立ていく。
2	内部研修で現場支援に必要な内容や法定研修等は実施していましたが、外部研修などに参加する機会までは設けることができていなかった。	外部研修の料金や時期、誰が行くかなど検討している間に参加してもらえていなかったため、事前にわかるものについては参加可能条件等も会社に確認をして、スケジュール化や適宜決断できるようにする必要がある。	外部研修の年間スケジュール化、有料の研修の参加判断の明確化。
3	地域交流・連携が自立支援協議会への参加、同法人内の事業所間と他事業所に見学に2か所行っただけだった。他に相談体験会を実施し、個別支援の体験などしていただく機会を設け、近隣にチラシを配布したが、直近だったため不十分だった。	他機関との交流の機会、地域に開けたイベント等があまりできていなかった。	他機関や地域と連携できるイベントの検討、及びスケジュールに組み入れ準備していく。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	せいかのかたち	公表日	4月21日
利用児童数	3月10日	回収数	16 (兄弟2組あり)

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				・十分に広く、個室もあるのが良い。 ・基準はもちろんクリアして思うので大丈夫だと思います。 ・部屋も広さがあるし、近くに公園もありお散歩に行けるのも良いと思う。	・基準は問題ありません。スペース及び立地等ご満足いただけて何よりです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16				・子どもにしっかりご対応いただくに十分な人数だと思う。 ・毎日の利用人数がよくわかっていないですが、先生たちはいつも沢山居てると思っています。 ・いつも充分な人数の先生方がいてくださると思う。	・職員の配置は十分に配置しております。ご理解いただきありがとうございます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1	・日常動作（靴の脱ぎ履き、手洗い、トイレ等）への理解が深まったと思う。 ・部屋の中を見学時の1回しか見たことがないため、※1については良く分かりませんが、トイレの鍵の位置など配慮されていると思っています。 ・きれいに整理整頓されているので、子どもも分かりやすいと思う。	・玄関からの動線がわかりやすく、生活習慣動作のルーティーンがしやすい空間になっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1			・いつも清潔であると思う。 ・いつもキレイに清潔にされていると思っています。いつもトイレ借りてしまってますみません。 ・清潔で、子どもが活動しやすい空間になっていると思う。	・令和6年4月リニューアルオープンで内装もまだ新しいですし、お子さんが帰られた後の掃除もしっかり行っていますので、清潔と思っていたいただいて嬉しいです。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				・言語聴覚士の先生も在籍されており、安心感がある。子どもがなついている。 ・娘の場合、両手で違う動きをすることが苦手ですが、特性に合わせて手先を使う訓練を取り入れてくれています。 ・STさんがいつもいてくださるのはとてもありがたい（我が家の場合）。	・言語聴覚士、保育士経験5年以上の職員と専門性のある職員を配置しております。ご要望にお応えで来ていて嬉しいです。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1	・HPを見ましたが、支援プログラムがわからず。 ・いつもブログを楽しく見させてもらっていますが、訓練内容も詳しく教えてくださっています。	・支援プログラムはブログと同じ並びに「支援プログラム」の項目があり、そこに掲載いたしております。ブログでも個別やと取り組みの内容を詳細にお伝えしていますので、ご確認いただければと思います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				・支援計画というより、日々の変化に応じて個別の課題をレベルアップさせるなど、状況に合わせてくれていると思う。 ・いつも面談で色々話を聞いてくれて相談にも乗ってもらって、普段の娘の様子を話して下さっているのでもそれに合わせて作成してもらっていると思います。 ・こどもをよくみた上で、計画を立ててもらえていると思う。	・半年ごとの個別支援計画の見直しでは、その時のお子さんの状況やニーズを現場職員と確認し、ご家族の方からのお話をお伺いしたうえで作成しております。またご意見・ご要望がありましたら、遠慮なくご相談いただければと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1	・「家族支援」「移行支援」は不明。わが家が求めているから、というのがあると思う。「本人支援」はしっかりやっていたい。	・児童発達支援計画書には記載させておりますが、個別の相談や就学や幼稚園に向けての移行の状況がない方はあまり意識する機会がないかもしれません。モニタリングまでの3か月に1回はご相談対応できるように努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				・個別は毎回してくださっていて、とても思う。	・ご評価いただきありがとうございます。個別も含め全体の関わりも児童発達支援計画に基づき、支援を実施しております。今後も一人ひとりに沿った支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1	・個別療育では、成長に合わせて新しい課題をし、季節のイベントもあるので助かっている。 ・個々の活動というのは個別療育のことですか？色々なプログラムを取り入れてもらっていると思います。 ・いろいろ工夫して、いろんなことを取り入れてくれていると思う。	・ご評価くださりありがとうございます。固定化されないよう、考えたり、季節ごとの行事を取り入れたりと、いろいろ工夫して取り組んでいます。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	5	・3rdとの交流以外は聞いたことがない。 ・せいかいのかたちの他の事業所（2ndや3rd）との交流の他にも、娘の場合、他の児発との交流はあります。	・現在同法人のせいかいのかたち2ndと3rdとは交流をしたりしていますが、今後近隣の園や他事業所とも連携する機会を検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2		8	・モニタリングやごちらの申し出の見学はさせてもらっている。ペアレントトレーニングは把握していない。 ・最近、やっていることはインスタやブログを通して知ったので、次は参加したいです。	・今年度は家族支援プログラムの実施はできませんでした。来年度には実施する機会を設けたいと思いますので、その際は参加をご検討いただけたらと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15			1	・連絡帳が丁寧だし、送迎時の会話からも共通理解はできていると感じる。 ・迎える時なので短時間になってしましますが、口頭でも様子を教えてくださり嬉しく思います。 ・フィードバックも書面か口頭手段で丁寧に伝えてくださっているし、こちらからも伝えられている。	・ご評価いただきありがとうございます。保護者の方に迎えに来ていただいているので、随時お伝えすることが出てごちらもありがたいです。その日の状況については時間があればお伝えしていきますし、何かあれば別時間に対応することもできますので気軽に申し出ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1			・定期的な面談は基本は半年毎ですか？	モニタリングは半年に1回以内ですが、必要に応じて適宜行います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				・成長を共に喜んでくれるのが嬉しい。やはりペースに成長の遅れへの不安があるので、明るく前向きにさせてくれるのがありがたい。 ・親身に支援してくださっている。	・子どもたちの成長が我々職員の糧でもあります。来てくれている子どもたちのプラスをご家族と共有できるのは職員も楽しみにしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		2	12	・当該交流があるという認識はない。 ・間14と同じような意味ですか？それでしたら最近知ったので、次回は参加してみたいと思います。	・今年度は開催できませんでした。みなさまに要望を確認して次年度の実施を検討できたらと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16				・窓口が誰、ということは認識していないが、どなたかに伝えた内容はきちんと共有いただいていると思う。 ・車での送迎対応など、いつも迅速に対応して下さい、ありがとうございます。ありがとうございます。	・職員が誰が受けても児童発達管理責任者に伝わるようにしています。相談内容につきましてはどんな内容でも適宜対応させていただきますので、遠慮なくお申し出ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				・連絡帳を通して色々教えてもらっています。 ・いつでも思っていること等を伝えられる環境にあると思う。	・お子さんの楽しそうなことなどのお伝えしたいと思います。何かあれば、連絡帳でも電話でも直接職員でも何でも構いません、気軽にお声掛けください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			2	・ブログが楽しみ。園での様子が伝わってくる。 ・いつも楽しみに見えています！	・ブログを楽しみにしてくださってありがとうございます。毎月通信等でもお伝えしていきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		5	・訓練の実施は承知している。マニュアルは把握していない。 ・マニュアルを下さる時もあるので助かります。	・玄関に掲示しているのですが、お伝えできていない方もおられるかもしれません。わかりやすく掲示するよう検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		6	・避難訓練等定期的にしてと思っています。	・ブログではお伝えしていますが、事業所にも貼り出すなど、保護者の方にも見やすい掲示の仕方を考えたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1			・小さなケガ、不調でも共有を受けている。 ・お迎えの時にきちんと伝えて下さるので安心して預けられています。	・気づき・変化については出来る限り保護者の方に報告するようにしています。安心していただけているようでほっとしています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				・ニコニコして通っているのが楽しく過ごしていると思う。 ・送迎してくれている深瀬先生を見るといつもニコニコしています（笑）。	・職員を見て安心していただけるとうれしいです。

満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16			・ニコニコして通っているので楽しく過ごしていると思う。 ・言葉は話せないですが、嫌がることなく通ってくれているので、楽しんできていると思います。 ・楽しみにしています！	・楽しく通ってくれているようでうれしいです。これからも楽しく通っていただけるよう工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			・いつもありがとうございます。時々不安でおしつぶされそうになりますが、子どもたちを否定せず、受け入れてくれて、助けられています。 ・いつもありがとうございます！！ ・支援内容に大変満足しています！とてもありがたいです。	・ありがとうございます。満足していただいています。これからも子どもたち、ご家族の方たちに寄り添った支援が行えるように取り組んでまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		せかいのかたち		公表日		4月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・利用児童の人数の状況に合わせて、支援室のオープンスペースと個室の使い分け、個別支援のスペースの確保など工夫して行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・職員配置は適正に行われており、十分に配置されている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・事業所内が玄関から支援室まで動線が1本になっており、生活活動のパターンが認識しやすく、習慣化しやすい環境になっている。あえて目を奪われるようなものは置かないようにしている。	・利用児の来所時対応など、玄関と支援室が離れているので見守りと玄関対応の連携が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	・清潔に整理整頓されている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個室が相談室も含め2つあり、状況や用途に応じて活用できる。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・保護者の意向については随時検討し、反映している。	・昨年度の評価表については、意見をいただいたの改善ポイントについて周知はされていたが、今年度実施できていないものもあった。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・日々の終礼ないし、直接ないし、面談や職員のチェックシートにて意見を把握し、会社と協議して業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		・外部評価は行われていない・	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・虐待研修や感染症の研修など法定研修以外に業務に必要な内容があれば法人内研修で実施している。	・法人内研修は確保されているが、外部研修などの機会がもっとあればと思う。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・web上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・見学面談・体験時にこどものニーズを確認し、客観的分析の元、児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・会議にて児童発達支援計画案をもとに検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・児童発達支援計画を共有した上で、個別及び集団での支援内容に即した支援を行うように指示し、終礼等で適切に行われているかどうか、随時確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・支援記録、連絡帳での記録の他に、終礼での周知、休みの職員は伝達ノートでの内容の周知を行い確認できるようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」は盛り込まれており、適切に設定しているが、「地域支援・地域連携」については記載項目は付けず、「移行支援」に含まれる形で記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・担当職員が何をするかを決め、当日担当する職員が内容の詳細を決定し、実施しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・みんなあそびは内容が被らないように設定し、月ごとにイベントを取り入れている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・毎回個別支援を30分ないし15分行っており、集団活動での支援と連動して支援できるように、児童発達支援計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝支援開始前に朝礼を行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・終礼にてその日の支援や状況の振り返りを行い、気づいた点の共有や改善点について話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々の支援について支援記録や連絡帳にて記録をとり、支援の検証や改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・6か月以内にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・状況を把握したうえで、児童発達支援管理責任者が参加している。	・児童発達支援管理責任者以外の参加も調整していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・つどいの広場や保育園、他事業所と連携すべく挨拶に行ったり、相互に見学に行ったりしている。	・医療や学校との連携がまだないので、連携できるよう関係づくりを進めていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・自事業所が児童発達支援事業のみを行っているため、並行利用や移行に向けた支援を行うために、放課後等デイサービスも行っている事業所と関係を広げている。保育所等とも情報共有できるところから連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・保護者には声掛けや状況の確認は行っているが、直接連携は出来ていない。	・連携が取れるように関係を構築していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	3		・設けられていないので、児童発達支援センターとの連携を図っていく必要がある。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・法人内事業所との交流がある。	・法人内の事業所間の交流はあるが、その他の交流は設けられていない。地域の交流を広げるために、近隣の園と関係を構築していく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送り時もしくはお迎え時にこどもの状況を確認し、気づいた点は伝え合う環境があるため、共通理解を持っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	・支援の見学など、申し出があった場合は様子がわかりやすい位置でみてもらう機会を設けている。	・家族支援プログラムや参加できる研修や情報提供等は行っていないので、区役所等で情報収集し提示するとともに、家族支援プログラムの実施に向けて検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメント時に確認し、個別支援計画説明時に再度確認を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・「児童発達支援計画」を示しながら説明し、必要に応じて変更し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・子どもの状態や家族の様子によって定期的もしくは随時相談に応じ、必要であれば時間を調整して面談等行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		・父母の会及び保護者会は今年度は設けられていない。次年度以降、定期的に開催できるように年間計画スケジュールに入れていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談や申し入れがあった際に、随時調整を行い、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・ブログでの発信を2日に1回行っている。	・1か月の状況や次月の予定を入れた通信を作成し発信する予定。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付き書庫で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・イメージがしにくいまたは理解が難しい子どもに対して視覚的支援や本人がわかりやすい言葉での説明や提示、文字と絵と動作の連動や繰り返したりゆっくり話したり、1つずつ伝えたりと配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・2月に発達相談・体験会を実施。数名参加している。	・イベント等地域住民の方も参加できるものを検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・玄関に掲示しており、1か月又は2か月ごとにいろいろな災害を想定した訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCPを策定し、災害時等の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・アセスメント時に服薬・てんかん発作等の確認は行っている。	・内服薬や塗り薬などは年度ごとに書類の提出をしてもらえると安心。⇒服薬についての対応をまとめた書面を作成し、共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・アレルギーについては契約時に確認している。	・医師の指示書までは確認していない。服薬や塗薬がある場合は、服薬に関する書面を作成し、それに基づいて保護者に処方箋の提出を行なっていただく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・年2回の研修の実施及び年3回の虐待防止委員会の開催をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・該当児童はいないが、職員の研修や保護者への契約説明時に状況に応じて対応が必要な場合は児童発達支援計画に記載し同意を得たうえでの実施になる旨を伝えている。	